

平成 30 年 10 月 1 日

## 政務活動研修報告書

下記のとおり、研修会等に参加しましたので、宍粟市議会政務活動費の用途に関する要領第 6 (7) の規定により報告します。

### 記

1. 研修日時	平成 30 年 9 月 28 日 14 時 00 分から 16 時 00 分まで
2. 研修先	津山市東新町 114-4 津山鶴山ホテル「弥生の間」
3. 研修参加者	政策研究グループグローバルしそく（飯田吉則・大畑利明）
4. 主催者	ポルティ株式会社
5. 講師等の氏名及び略歴	(講師氏名及び演題等を記載) テーマ：橋本市民病院の経営改革 ～自治体病院の新しい経営改革モデル～ 講師：豊岡 宏氏（岡山市立総合医療センター 岡山市民病院 事務局長）
6. 研修目的	自治体病院の経営改革（橋本市民病院の経営改革から学ぶ）
研修内容	1、和歌山県橋本市民病院の概要 2、経営改革がスタートするまでの橋本市民病院の状況 3、橋本市民病院が経営改革でやったこと 4、経営改革がスタートしてからの経緯 5、橋本市民病院の経営改革の 1 年の成果 6、キーワードは「アウトソーシング」

<p>考 察</p>	<p>(研修を通して宍粟市における可能性や問題点などを考察する)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・和歌山県橋本市民病院は、許可病床数 300 床（急性期・20 診療科・10 対 1 看護基準・DCP 対象病院）、橋本二次医療圏に属し、人口約 12 万人を対象医療圏。</li> <li>・地方の自治体病院が抱える①職員定数の問題、②高コスト体質、③医師不足等の問題に対して、①と②は、アウトソーシングと業務移管で、③は、病院独自の新しい医師確保の仕組みを構築するなどで対処。</li> </ul> <p>H26 年度から 2 カ年計画で経営改革プロジェクトをスタートさせ、H25 年度 3 億 5 千万円の赤字が、H26 年度 1 億 1 千万円の黒字に（1 年間で 4 億 6 千万円の損益改善に成功）H27 年度も 1 億 1 千万円の黒字を計上。</p> <p><b>*宍粟総合病院の経営改革に参考となった内容</b></p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1、病院全体の経営・運営力の強化（意思決定・リーダーシップなど）</li> <li>2、経営コンサルタント会社の起用（DCP 分析と対策の立案）</li> <li>3、経営改革の推進体制の構築と実施（以下の具体的内容） <ul style="list-style-type: none"> <li>・HCU の稼働・運用・施設基準取得</li> <li>・地域包括ケア病棟の稼働・運用・施設基準取得・リハビリ強化</li> <li>・看護師の必要数確保</li> <li>・薬剤の 100%ジェネリック化</li> <li>・医療機器全面老朽更新WT</li> <li>・医療スタッフ雑務の委託（医師・看護師の職務に専念してもらう）</li> <li>・地域連携WT（介護・在宅含めた地域連携強化による紹介患者の増加）</li> <li>・在宅医療連携WT（地域包括システムの検討）</li> </ul> </li> <li>4、新しい医師確保の仕組みづくり（臨床研究支援・大リーガー医育成）</li> </ol>
------------	---

【写真】（可能であれば添付）

